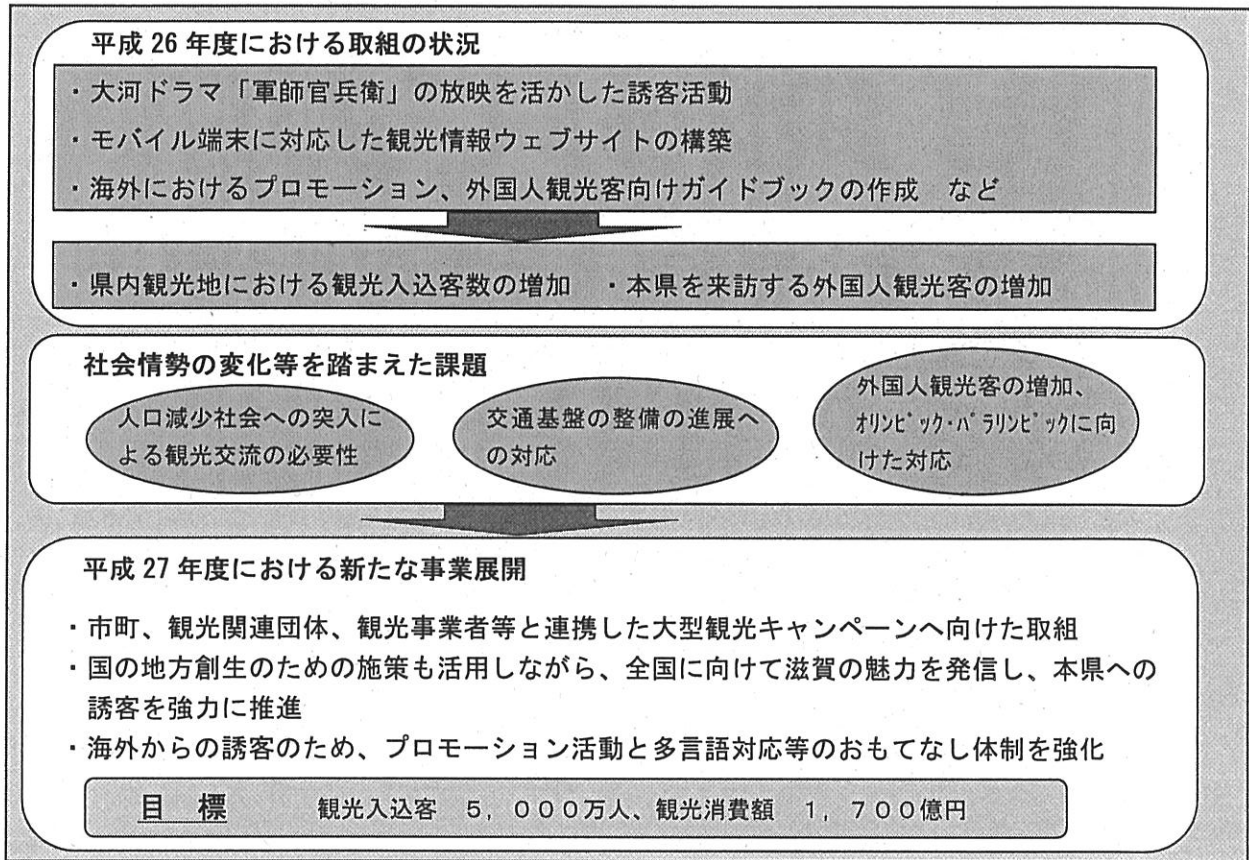


## 平成 27 年度滋賀県「観光交流」振興指針アクションプランについて

### □平成 27 年度における観光施策の展開について

滋賀県「観光交流」振興指針に基づく取組を、社会情勢の変化等を反映させながら加速していきます。



### □アクションプランにおける目標ごとの具体的な取組

#### 目標 1 「観光地「滋賀」の認知度向上

<p>戦略 琵琶湖・滋賀をキーワードとしたブランドの創造と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 観光ブランド「ピワイチ」の取組</li> <li>(2) 滋賀県のブランド化に向けた取組</li> <li>(3) 様々な機会を活かした滋賀の魅力発信</li> </ul>	<p>戦略 ターゲットを意識した継続的な情報発信強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ターゲットを意識した継続的な情報発信強化</li> <li>(2) 海外への「滋賀」の魅力発信</li> <li>(3) オリンピック・パラリンピックに向けた取組</li> </ul>
---	--

#### 目標 2 「滋賀ならではの」素材や強みを活かした特色のあるツーリズムの展開

<p>戦略 滋賀の特色を際立たせる誘客活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 豊かな自然と調和した生活文化を活かした誘客活動の展開</li> <li>(2) 「戦国の近江」など歴史資産を活かした誘客活動の展開</li> <li>(3) ロケツーリズムによる誘客の推進</li> <li>(4) 訪日教育旅行の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(5) 滋賀県のような素材を活かしたツーリズム</li> <li>(6) 交通利便性を活かした取組</li> <li>(7) ふるさと名物商品・旅行券を活用した取組</li> </ul>
	<p>戦略 学生、地域住民等による「観光交流」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域住民による「観光交流」の推進</li> <li>(2) 滋賀県民が県内の観光地を巡る取組</li> </ul>

#### 目標 3 来訪者、居住者双方がともに満足できる「観光交流」推進の体制づくり

<p>戦略 来訪者を温かく迎える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 観光交流を担う人材の育成</li> </ul>	<p>戦略 「観光交流」推進に向けた基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 大型観光キャンペーンの実施に向けた検討</li> <li>(2) 「観光交流」推進に向けた基盤の整備</li> <li>(3) 外国人観光客受入環境の整備</li> </ul>
--	---



平成 27 年度  
滋賀県「観光交流」振興指針  
アクションプラン

平成 27 年 4 月  
滋賀県

## 1. はじめに

### (1) 滋賀県「観光交流」振興指針について

滋賀県では、平成 26 年 1 月に滋賀県「観光交流」振興指針を策定しました。平成 27 年度からは、指針に基づく取組を加速していきます。

指針では、『観光交流』を通じて、活力ある地域社会の実現を目指すことを基本方針として、「訪れてよし、迎えてよし、地域よしの『観光・三方よし』」の推進にむけて、(1) 観光地「滋賀」の認知度向上、(2) 「滋賀ならではの」素材や強みを活かした特色のあるツーリズムの展開、(3) 来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくりの3つの目標に沿って、戦略的に取組を進めています。

### 滋賀県「観光交流」振興指針に基づく取組の推進

#### 目標1

##### 観光地「滋賀」の認知度向上

滋賀県は、琵琶湖に代表される風光明媚な自然・美しい景観、比叡山、彦根城など、「近江」の奥深い歴史文化に育まれた数多くの文化財、そして地域に根ざした祭りや伝統芸能、生活文化などを有しています。こうした観光地「滋賀」の多彩な魅力を内外に強くアピールし、多くの人に滋賀の地に訪れてもらうきっかけをつくります。

##### ○戦略○

- ・琵琶湖・滋賀をキーワードとしたブランドの創造と発信
- ・ターゲットを意識した継続的な情報発信強化

#### 目標2

##### 「滋賀ならではの」素材や強みを活かした特色のあるツーリズムの展開

滋賀県は豊富な観光資源をはじめ、恵まれた交通アクセス、大学の立地など「滋賀ならではの」素材や強みがあります。これらの「強み」を有効に活用することにより、他府県には真似のできない「滋賀ならではの」ツーリズムを展開することができます。

##### ○戦略○

- ・滋賀の特色を際立たせる誘客活動の推進
- ・学生や地域住民等による「観光交流」の推進

訪れてよし、迎えてよし、地域よしの  
「観光三方よし」の推進

#### 目標3

##### 来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくり

「観光交流」の推進は、来訪者のみならず、お迎えする私たちや地域社会全体にとっても大きな恩恵をもたらします。(「観光・三方よし」)そのための核となる人材の育成をはじめ、地域でのソフト・ハード両面にわたる基盤整備を進めることなどを通じて「観光交流」の体制づくりを行います。

##### ○戦略○

- ・来訪者を温かく迎える人材の育成
- ・「観光交流」推進にむけた基盤の整備

県・びわこビジターズビューロー・市町・観光関連団体・観光事業者・県民等、各主体の協働による効果的な取組の推進  
⇒ 「観光交流」を通じて、活力ある地域社会の実現を目指す

具体的な推進にあたっては、多様な主体が有機的に連携して効果的な取組を進め、平成 23 年に過去最高を記録した、観光入込客（延べ）4,800 万人、観光消費額 1,640 億円を超えることを目指しています。

## (2) アクションプランの趣旨・目的

アクションプランは、指針が定めた目標に向かって県が具体的に取り組む内容を年度ごとにまとめるものです。この策定を通じて、以下のことを目指します。

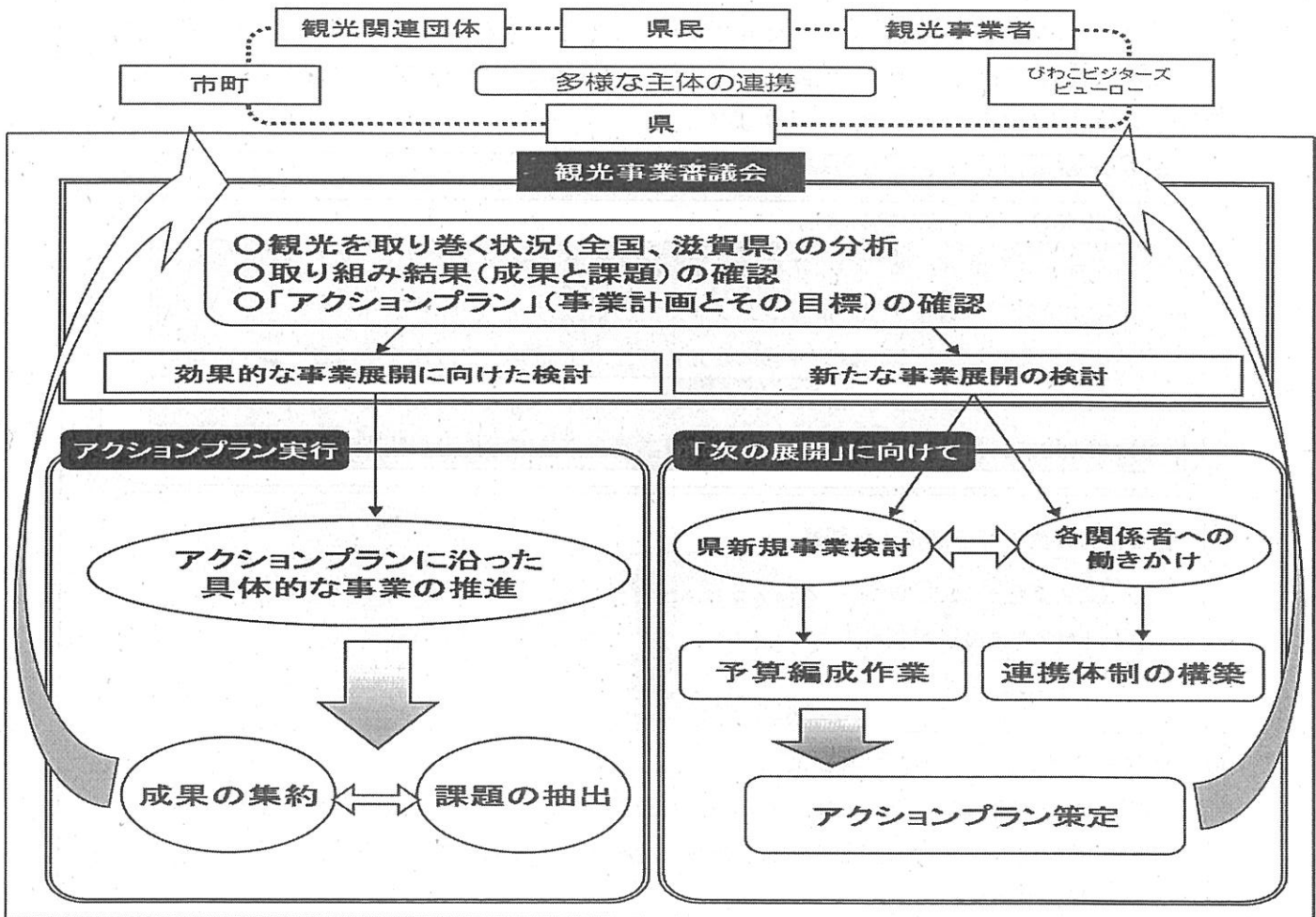
### ○様々な主体相互の有機的な連携強化

県庁内部においては、部局横断で設置している「滋賀県観光施策推進本部」を通じてアクションプランに基づいた連携をはかるとともに、市町や観光関連団体、観光事業者、県民の皆さんに対してもアクションプランの周知に努め内容を共有することを通じ、各主体と有機的に連携した取組を推進します。

### ○PDCAサイクルを活用した新たな事業展開

アクションプランにより、毎年度、計画的に取組を推進するとともに、その取組成果を点検し、経済・社会情勢の変化を的確に反映させながら、指針の目指すところを実現していくため、新たな事業展開を図ってまいります。

## アクションプランによる事業展開のイメージ



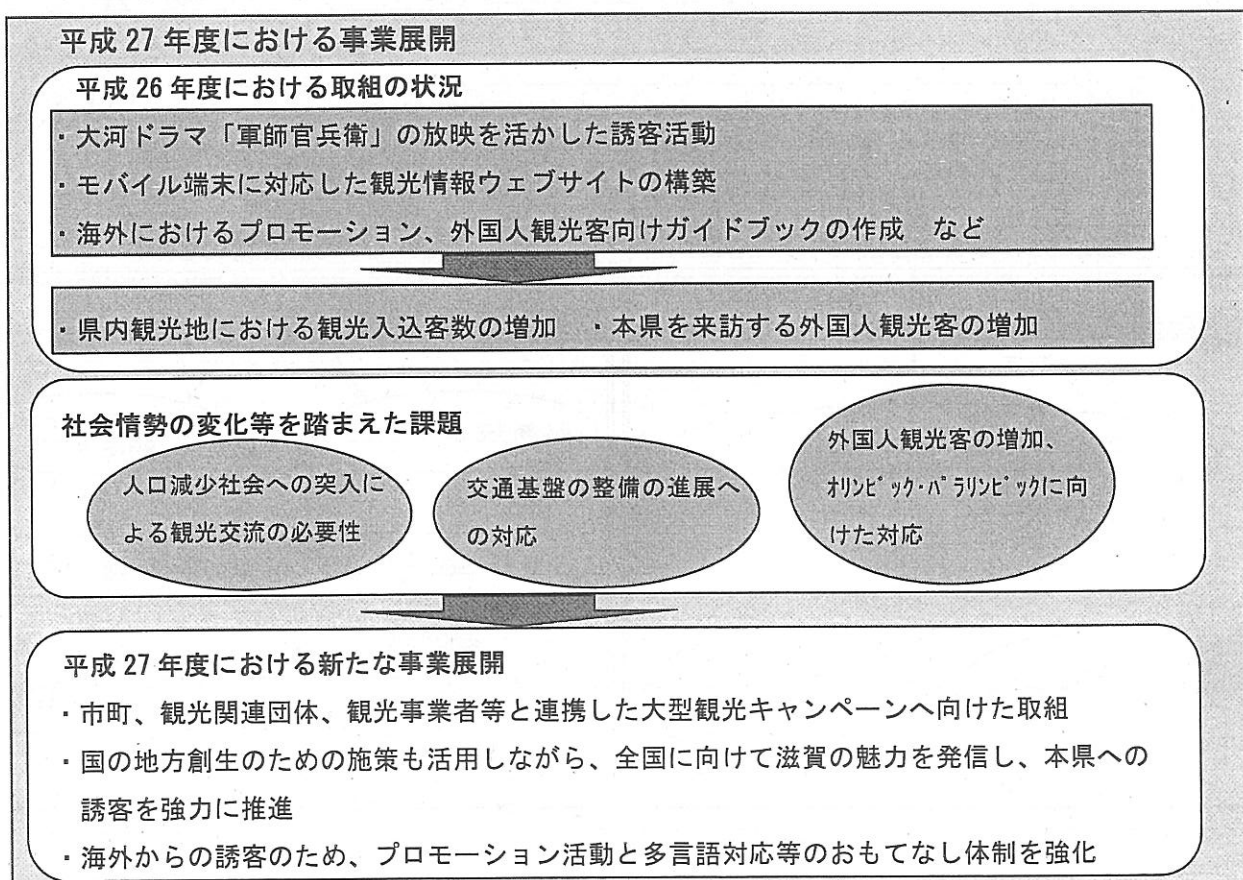
## 2. 平成 27 年度における観光施策の展開について —平成 26 年度を取組を踏まえて—

平成 26 年度は、指針に基づく取組の初年度として、3 年ぶりとなる戦国時代を舞台とした大河ドラマ「軍師官兵衛」放映を活かした誘客活動や、スマートフォンや SNS に対応する観光物産情報ホームページのリニューアル、外国人観光客受入に向けたガイドブックの作成、宿泊滞在型観光の促進など、新たな事業に取り組みました。

その結果、平成 26 年の県内主要観光地の観光客数は、民間調査会社によると 2.2% の増加になっているほか、長浜市における黒田官兵衛博覧会が目標を上回る約 35 万人を集めました。また、滋賀の恵まれた資源を活かすロケ地観光では、ロケ地情報誌が選ぶ「ロケーションジャパン大賞 2014 グランプリ」を獲得するなどの成果を上げることができました。

こうした成果も活かしながら、今後の取組を進めていく上においては、訪日外国人客の大幅な増加や、東京オリンピック・パラリンピックに向けた盛り上がり、交通基盤の整備の進展、人口減少社会への突入など、本県を取り巻く社会情勢の変化に対応して、新たな事業展開を図っていく必要があります。

そこで、平成 27 年度は、観光交流を通じて県民が豊かさを実感できる滋賀の実現を目指して、特に大型の観光キャンペーンの実施に向けた県をあげた取組を開始するとともに、国の地方創生のための観光関係施策なども活用しながら、全国に向けて滋賀ならではの歴史、自然、生活文化などの魅力を発信し、本県への誘客を図ります。また、訪日外国人客向けの観光ウェブサイトによる情報発信を進めるとともに、海外でのプロモーション活動などを行い、外国人誘客に向けた魅力発信を行うなど、指針に基づく取組の 2 年目として、観光交流推進に向けた取組を加速してまいります。



## 目標1 観光地「滋賀」の認知度向上

### ○継続的な取組○

滋賀県が有する豊富な観光資源、特産品の魅力を継続的に発信・アピールし、観光地としての滋賀県のブランド力を高めていきます。

あわせて、インターネットホームページやソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を活用した発信、マスコミや旅行エージェントに対するプロモーション活動のほか、鉄道事業者と連携したキャンペーン活動や東京観光物産情報センターを核とした発信、大近江展をはじめとする物産展の開催等を継続して進めます。

### ○平成27年度の重点施策○

## 戦略 琵琶湖・滋賀をキーワードとしたブランドの創造と発信

### (1) 観光ブランド「ビワイチ」<sup>\*</sup>の取組

「観光地滋賀の認知度向上と評価の一体的な向上」に向け、引き続き観光ブランド「ビワイチ」推進事業に取り組み、観光客総量の拡大と魅力ある観光資源の創出を図ります。

県内を周遊・体感するツアー企画を「ビワイチツアー」として認定し、滋賀を巡る旅づくりを展開するとともに、県、市町、びわこビジターズビューロー、市町観光協会が連携し、地域に眠っている様々な地域資源を観光資源に転換する取組や、既にある観光資源をさらに磨き上げる取組を通じて、ビワイチの旅の素材(ビワイチマテリアル)づくりを引き続き進めていきます。



観光ブランド「ビワイチ」のロゴ



奥琵琶湖(竹生島を望む)

### (2) 滋賀県のブランド化に向けた取組

#### ○「滋賀・びわ湖ブランド」と分野別ブランド○

観光ブランド「ビワイチ」をはじめとした様々な分野のブランドや、「近江牛」「信楽焼」など全国的に知名度が高い産品など、滋賀の様々な魅力をさらにしっかりと「滋賀県」と結び付けることによって、「滋賀」のブランド化に向けた取組を進めています。

※観光ブランド「ビワイチ」: 観光地滋賀の認知度と評価の一体的な向上を目指して、滋賀を体験し周遊する旅づくりを行う取組

### ○「滋賀・びわ湖ブランド」の推進○

「滋賀・びわ湖ブランド」に関しては、滋賀・びわ湖ブランド推進事業により、「滋賀・びわ湖ブランドネットワーク」を中心に、民間ブランディングディレクターのプロデュースのもと、デザイナーやアーティストと共に新たな視点で滋賀の魅力を発掘・発信し、それぞれの魅力を「滋賀」と結ぶ「MUSUBU SHIGA」の取組を進めます。



MUSUBU SHIGA のホームページ  
(トップ画面)

### ○分野別ブランドと連携した誘客推進○

また、神と仏の美やアール・ブリュットなど豊富な美の資源を活かして地域の魅力を発信する「美の滋賀」づくり、県産食材の消費喚起を図る「おいしが うれしが」キャンペーン、滋賀らしい価値観を持つ商品やサービスの魅力を発信する「ココクール マザーレイク・セレクション」<sup>\*</sup>など、分野別の魅力発信の取組と連携し、滋賀県全体の地域イメージを向上させ、効果的な誘客推進につなげます。



「おいしが うれしが」キャンペーン

### (3) 様々な機会を活かした滋賀の魅力発信

ふるさと観光大使が開催する野外音楽イベント「イナズマロックフェス」<sup>\*</sup>の会場において、歴史、文化、自然や暮らしなどの滋賀の良さを感じることのできる体験型観光をPRする「おいで～な滋賀体感フェア」を開催するほか、若者の力や地域との連携を通して、イナズマロックフェスを一層県民に親しまれるイベントにしていきます。



おいで～な滋賀体感フェア会場

また、陶芸の森 25 周年事業において、記念シンポジウムの機会を活用し、県内の地場産業の取組やその魅力を発信します。

さらに、全国高等学校総合文化祭の好機を活かして、滋賀の魅力を全国に発信します。

※ココクール マザーレイク・セレクション：滋賀ならではの資源や素材を活かし、心の豊かさや上質な暮らしぶりといった滋賀らしい価値観を持つ商品・サービスを募り、その中から特に湖国・滋賀のイメージをクールに伝える素敵なものを選んだセレクション

※イナズマロックフェス：滋賀ふるさと観光大使・西川貴教さんが主催する県下最大の音楽フェスであり、全国から約 10 万人を集客



## 戦略 ターゲットを意識した継続的な情報発信強化

### (1) ターゲットを意識した継続的な情報発信強化

インターネットを活用した情報発信は、これまでから取り組んできたところですが、平成 27 年度においては、県で取組を進めている無料W i - F i 整備促進事業と連動して、本県を訪れる外国人観光客に対して、効果的・効率的な観光情報の発信ができる訪日観光客向けの観光情報ウェブサイト構築し、情報発信を強化します。



さらに、「ようこそ滋賀」魅力発信事業により、歴史、自然、生活文化、食など豊富な本県の魅力を、テレビや雑誌、インターネットなど、メディアミックスにより情報発信し、観光地「滋賀」の認知度を向上し、本県への誘客を進めます。なお、女性を対象とした旅行市場の動きが活発であり、影響力も大きいことから、特に女子旅に焦点をあて、女性を引き付ける旅の情報発信を行います。

### (2) 海外への「滋賀」の魅力発信

本県を訪れる外国人観光客が急増している状況の下、さらなる誘致を促進するため、重要市場である台湾をはじめとする東アジアのほか、伸びの著しい東南アジアを中心にプロモーション活動を展開します。



台湾におけるプロモーション

また、これまでのミシガン州との友好交流に根差した取組として、同州の大規模な美術・植物庭園であるマイヤーガーデンに、全米最大級の日本庭園が開園するのに併せて、マイヤーガーデン滋賀プロジェクト事業により、滋賀の文化財・美術品の特別展覧会の開催等を通じて本県の情報発信を進めます。



マイヤーガーデンでの展覧会

### (3) オリンピック・パラリンピックに向けた取組

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ボートやセーリング、カヌーといった湖上スポーツなど、滋賀ならではの事前合宿の誘致や、2019 年のラグビー・ワールドカップ日本大会のキャンプの誘致に取り組みます。

また、オリンピック・パラリンピックに向けて、全国で展開される文化プログラムと連携し、本県でも発信力のある芸術文化活動の展開を進め、国内外からの誘客につなげます。

※マイヤーガーデン：本県の姉妹州である米国ミシガン州にある大型の植物・彫像庭園。年間来場者は約 60 万人。2015 年 1 月 30 日～8 月 16 日の期間、本県の文化財・美術品の特別展覧会を開催。

## 目標2 「滋賀ならではの」の素材や強みを活かした特色のあるツーリズムの展開

### ○継続的な取組○

花火大会や伝統的なまつりの支援、各地域で実施する誘客活動の支援、滋賀ロケーションオフィスと連携した映画を通じた魅力の発信などを継続的に進めるほか、波及効果が大きいコンベンション誘致や将来の滋賀県ファンを育てることにもつながる教育旅行誘致等に粘り強く取り組みます。あわせて、滋賀県の豊富な観光地を旅行ツアーに組み込んでいただく旅行商品化連携事業等を推進します。

国際観光については、関西や中部での広域連携によるプロモーションを活用しつつ、水や食、自然、歴史的資産など、滋賀の強みである観光素材を訴求し、積極的に情報を発信します。

### ○平成27年度の主な重点施策○

#### 戦略 滋賀の特色を際立たせる誘客活動の推進

##### (1) 豊かな自然と調和した生活文化を活かした誘客活動の展開

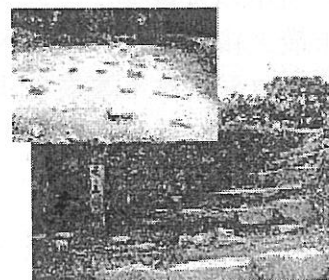
本県には、日本最大の湖である琵琶湖を中心に広がる豊かな自然があります。また、悠久の歴史に育まれた、自然と調和した水にまつわる生活文化もあります。日本遺産の認定を受け、これらの資産を魅力的に発信し、国内外から誘客を進めます。



高島市マキノ町海津の石積み

##### (2) 「戦国の近江」など歴史資産を活かした誘客活動の展開

歴史資産の中でも、特に観光客に人気のある、城跡や古戦場など、戦国時代の遺跡の魅力を発信するため、「戦国の近江」魅力発信事業により、探訪やシンポジウムを県内外で開講し、来訪者の誘致を図ります。また、彦根城・安土城、忍者を紹介する英語版資料をインターネットで発信し、外国人観光客の誘致を図ります。



安土城跡の石垣

※日本遺産：海外からの観光客の増加にもつなげようと、国内各地の文化財を地域的なつながりや時代的な特徴ごとにまとめ、日本版の世界遺産「日本遺産」として海外に発信していく、文化庁が創設する制度

### (3) ロケツーリズムによる誘客の推進

本県での映像製作を促進し、滋賀を舞台とした作品が製作されるよう取組を進めます。また、ロケ地となった作品の上映中やその前後に、ロケ地への観光客が増加するなどの効果を収めていることから、映像誘致戦略展開事業などにより、映像の力を観光誘客につなげるロケツーリズムを推進します。



映画の撮影風景

### (4) 訪日教育旅行の推進

滋賀県への訪日教育旅行については、これまでに実績がある台湾をターゲットとした誘致活動を継続して進め、確実な誘客を進めるほか、成長著しい東南アジアもターゲットとして展開し、更なる拡大を目指します。



訪日教育旅行における学校交流

### (5) 滋賀県のような素材を活かしたツーリズム

本県の魅力を活かした誘客を進める中で、「ビワイチ」の語源ともなったウォーキングやサイクリングの取組を進めます。自転車による琵琶湖一周「ビワイチ」が体験できるよう、米原駅サイクルステーション検討事業により、サイクルステーションの設置やレンタサイクルの広域利用システムについて検討します。



びわ湖一周ロングライド

また、湖西線を活用した広域観光キャンペーンの実施や、運行20周年を迎えるSL北びわこ号記念事業を契機とした北びわ湖地域への誘客など、鉄道を活かした地域の活性化にも取り組みます。

一方で、近代美術館で優れた美術作品を魅力的に紹介する展覧会を開催したり、琵琶湖博物館を中心に環境学習情報の掘り起こしや発信を行うほか、びわ湖ホールなど県立施設が滋賀の魅力の軸にした誘客を進めます。さらに、滋賀の魅力を伝える「ココクール マザーレイク・セレクション」選定施設などとも連携し、滋賀ならではの質の高いサービスを提供します。



近代美術館

さらに、「琵琶湖八珍」ブランド化事業により、琵琶湖特産の湖魚ブランド「琵琶湖八珍」の魅力をもPRし、旅館等での利用促進を図るなど、「食」による魅力発信を行います。

また、「地域観光活性化支援事業」や「地域の元気創造・暮らしアート事業」などを通じて、各地域が主催するイベントを支援し誘客につなげます。また、本県の魅力を活かしたコンベンション誘致の取組も進めます。

※ロケ地日本一：ロケ地情報誌「ロケーションジャパン」が、地域を盛り上げた映画やドラマとその地域を表彰し、「エンタメ×地域」の頂点を決める「ロケーションジャパン大賞」の第5回のグランプリが『『るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編』×滋賀県』に決定

※琵琶湖八珍：2013年に安土城考古博物館が選定した琵琶湖を代表する8種類の魚介類(ビワマス、コアユ、ニゴロブナ、ハス、ホンモロコ、イサザ、ビワヨシノボリ、スジエビ)

## (6) 交通利便性を活かした取組

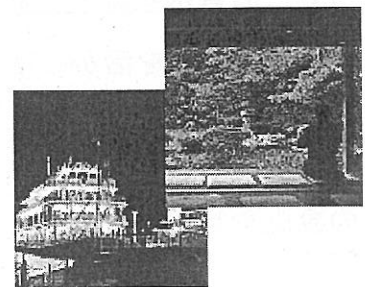
滋賀県は、鉄道、道路ともに交通利便性が非常に高く、また、関西と中部という2つの国際空港に近接していること等は大変大きな「強み」です。

そこで、関西広域連合や中部広域観光推進協議会におけるプロモーション活動において、例えば、近接する京都観光とセットで滋賀県も周遊いただく、あるいは中部空港と関西空港を結ぶ観光ルートを提案するといったアピールも行うなど、アクセス利便性を活かした取組を進めます。

また、名神高速道路、北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道が一体となった、本県と京都府、福井県を周回する高速道路の開通に合わせて、中日本高速道路株式会社・西日本高速道路株式会社との包括連携協定なども活用しながら、サービスエリアでの情報発信の強化などにつとめ、阪神圏や中京圏からの観光誘客につなげます。

## (7) ふるさとと名物商品・旅行券を活用した取組

国の地方創生のための施策を活用して観光消費喚起事業を実施し、本県の名物商品を購入される方や、県内の宿泊施設を利用される方へ助成を行い、本県への誘客を促進するとともに、県内における観光消費の拡大を図ります。



ふるさと旅行券の利用イメージ

## 戦略 学生、地域住民等による「観光交流」の推進

### (1) 地域住民による「観光交流」の推進

本県には、多くの学生が在籍していることから、これらの大学との連携を強め、学生による「滋賀周遊の旅プラン」のコンテストを実施するなどにより、「観光交流」推進に活かしていきます。



学生旅のコンテスト表彰式

また、「人と地域が輝く歴史遺産活用モデル事業」で、県内の史跡等でモデル地区において、大人や子どもに対して学習会などを行い、活用の担い手となる人材を育成します。さらに、担い手による探訪などの事業を支援し、来訪者との交流に協働して取り組みます。

### (2) 滋賀県民が県内の観光地を巡る取組

滋賀県民の皆さんに本県の魅力を再発見していただくことは、それ自体が観光振興になるだけでなく、県民の郷土への誇りを醸成し、他府県の方々へ本県の魅力を発信いただけるなど大きな効果が期待できます。そこで、県内金融機関と連携した観光情報の発信を行っており、滋賀県の魅力を再発見いただく「旅の地産地消」の取組を進めます。

### 目標3 来訪者、居住者双方がともに満足できる「観光交流」推進の体制づくり

#### ○継続的な取組○

ボランティアガイドの研修支援等を通じた人材育成のほか、受入基盤整備としては、景観保全や来訪者にも優しい環境づくり、最寄り駅からの2次交通アクセス整備の支援等を進めます。

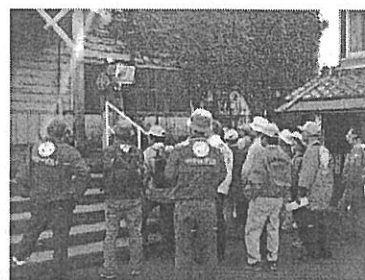
#### ○平成27年度の主な重点施策○

#### 戦略 来訪者を温かく迎える人材の育成

##### (1) 観光交流を担う人材の育成

地域リーダーとして文化財を守り、来訪者に滋賀県の魅力を伝える人材として、「千年の美つたえびと」を養成するほか、「ウェルカム滋賀」推進事業により、各地域での観光ボランティアガイドによる活動を継続して支援します。また、そのほかにも地域の状況にあわせた人材育成事業を展開します。

このような人材育成事業の推進にあたっては、滋賀県の自然環境、歴史・文化について豊富な知識を有しておられる方々が活躍できる場づくりを積極的に行ってまいります。



観光ボランティアガイド  
交流研修会

#### 戦略 「観光交流」推進に向けた基盤の整備

##### (1) 大型観光キャンペーンの実施に向けた検討

観光キャンペーン推進事業により、大型観光キャンペーンの実施に向けて企画検討を行うとともに、県内各市町や観光関連団体、観光事業者等と連携し、協議会設立などの検討や準備を進めます。

##### (2) 「観光交流」推進に向けた基盤の整備

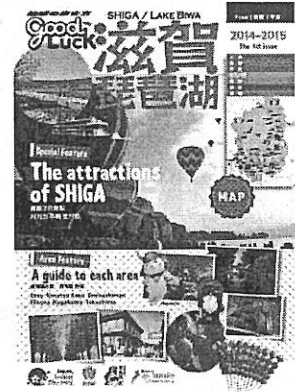
新生美術館の開館に向けて施設整備（設計業務）および機能整備の取組を行うとともに、琵琶湖博物館の展示交流空間の再構築を進めるほか、首都圏における情報発信拠点の整備などについて検討を進めるなど、「観光交流」を推進する環境づくりに取り組みます。



琵琶湖博物館リニューアル  
(イメージ)

### (3) 外国人観光客受入環境の整備

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた外国人の「おもてなし」体制づくりを視野に入れ、民間企業と連携して外国人向けガイドブックを作成するとともに、観光施設等での多言語対応を進めるほか、無料Wi-Fiスポットの整備促進を市町の取組とも連携して進めるなど、増加が続く外国からの個人旅行客向けに受入環境整備を進めます。



Good luck trip (滋賀版)



## 数値目標

滋賀県「観光交流」振興指針では、観光入込客数（延べ）を4,800万人、観光消費額1,640億円を目指して取り組むこととしておりますが、平成27年度は国の地方創生のための観光関連施策を活用して、過去にない規模で事業を実施するため、以下のとおり、さらに高い目標を掲げて取り組んでまいります。

なお、この達成に向けては、県はもとより、びわこビジターズビューロー、市町、観光関連団体、観光事業者の皆さんと有機的連携をはかり、総力をあげて取り組むものと考えています。県の事業については、次ページ以降の一覧に掲載しております。これらについては、別途事業ごとに目標を設定し、進捗管理しながら取り組んでいきます。

<b>観光入込客数（延べ）</b>	<b>5,000万人</b>	（H25 4,523万人）
-------------------	----------------	---------------

※過去にない大規模な事業を行うため、平成25年の1割増を目指して設定

<b>宿泊客数</b>	<b>350万人</b>	（H25 321万人）
-------------	--------------	-------------

※過去にない大規模な事業を行うため、平成25年の1割増を目指して設定

<b>外国人観光入込客数（延べ）</b>	<b>40万人</b>	（H25 20万人）
----------------------	-------------	------------

※近年の急激な伸びを考慮し、平成25年の倍増を目指して設定

<b>外国人宿泊客数</b>	<b>24万人</b>	（H25 12万人）
----------------	-------------	------------

※近年の急激な伸びを考慮し、平成25年の倍増を目指して設定

<b>観光消費額</b>	<b>1,700億円</b>	（H25 1,545億円）
--------------	----------------	---------------

※観光入込客数と同様に平成25年の1割増を目指して設定

◎数値データは「滋賀県観光入込客統計調査」による。

# 平成27年度滋賀県「観光交流」振興指針アクションプラン 重点事業

## 基本目標1 観光地「滋賀」の認知度向上

### 戦略 琵琶湖・滋賀をキーワードとしたブランドの創造と発信

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
企画調整課	滋賀・びわ湖ブランド推進事業 (滋賀・びわ湖+DESIGNプロジェクト)	「滋賀・びわ湖ブランドネットワーク」を中心に、滋賀の価値を効果的に発信する。	29,877
文化振興課	アール・ブリュットの魅力発信事業	作品の魅力を県内外に発信するため、公立・民間施設等での作品展示や、紹介映像の制作等を行う。	7,937
文化振興課	アール・ブリュット振興事業	関係団体等が集い意見交換を行うとともに、広く情報提供を行う全国ネットワークの活動等を推進する。	2,502
琵琶湖博物館	新琵琶湖博物館創造推進事業	琵琶湖博物館の利用者の増大と定着のための取組を戦略的に進めるため、県外向けの情報発信・認知度向上の効果的な対策や広報・メディア戦略を多様な主体との連携を図りながら推進し、琵琶湖博物館ブランド、滋賀・びわ湖ブランドの発信強化を図る。	13,434
障害福祉課	障害者芸術・文化活動推進事業	県民に対して障害者芸術の魅力と可能性を伝えるとともに、障害のある人の社会参加の促進と地域生活の充実を図り、共生社会の実現を目指す。 ・障害者アート公募展(びかつtoアート展)の開催/ノボダレス・アートミュージアムNO-MAの活動支援 ・障害者表現活動の地域拠点づくりモデル事業	26,600
商工政策課	「ココクール マザーレイク・セレクション」首都圏発信事業	首都圏において「ココクールフェア」を開催することで、「ココクール」の認知度向上と販路拡大を図るとともに、滋賀のブランド価値や魅力の向上を図る。	2,581
商工政策課	滋賀の資源をつなぐ絆プロジェクト推進事業	地域における経済循環の促進を図るため、関係団体との協働により、県内企業間のマッチングを行い、滋賀の様々な技術や商品、サービス、地域資源等のつながりの中から、暮らしの安全・安心を支え、また、地域の魅力創造につながる新たなビジネスモデルの創出に取り組む。	8,000
モノづくり振興課	地場産業の魅力発信事業	陶芸の森25周年事業における記念シンポジウムの機会を活用し、県内の地場産業の取組を発信するとともに、各産地の産品を直接最終消費者に販売・提案等できる場を提供する。	1,200
観光交流局	観光ブランド「びワイチ」推進事業	本県の観光地としての認知度と評価の向上を目指し、滋賀を周遊することを象徴的に表現する「びワイチ」(びわ湖一周)というフレーズを用いた旅のブランドづくりを行う。	12,900
食のブランド推進課	「おいしがうれしが」キャンペーン推進事業	地産地消を推進するため、「おいしがうれしが」キャンペーン推進店への登録の呼びかけ、情報発信等を行う。あわせて、推進店を巡るラリー企画の実施により、消費者ニーズを把握するとともに、生産者と推進店の連携をより強化するための食材交流会を開催する。	3,800
食のブランド推進課	「滋賀の食材」大都市で魅力発信事業	県外において、「滋賀の食材」のブランド力向上を図り、見える形で県外取扱店舗を開拓、強化を行うため、大都市圏での「滋賀の食材」全体の認知度向上を図るとともに、生産者団体間の連携を推進し、意欲ある生産者等の県外展開を支援する。	8,231
食のブランド推進課	近江の野菜「漬物」で魅力発信事業	伝統野菜や地域特産野菜を中心に「近江の野菜」を振興するため、これらが培われた歴史や食文化などのストーリーを色濃く反映する「漬物」に焦点をあて、食材やその文化が持つ魅力を県民とともに再確認し、関係者の活性化を図る。	2,947
食のブランド推進課・農業経営課	「みずかがみ」産地化スタートダッシュ事業	県外に販路を拡大した「みずかがみ」が、消費者の信頼を得、近江米のブランド力をけん引するよう、均質で高品質な生産と県外販売に見合う流通量の確保、および認知度向上による流通販売促進を図る。	43,980
畜産課	三方よし「近江牛」ブランド力強化推進事業	全国でのブランド牛乱立による産地間競争の激化や子牛価格の高騰による畜産経営の圧迫など厳しい畜産環境において、繁殖肥育一貫経営の推進により「近江牛」の生産基盤を強化するとともに、ブランド力の向上に向けた取り組みを行うことで、「近江牛」ブランドの全国的な広がりを目指す。	5,502
文化財保護課	「世界遺産」・「日本遺産」登録推進事業	「彦根城」の世界文化遺産登録の準備のために彦根市を支援するとともに、新たに「日本遺産」の認定の推進を図り、国内外に情報を発信するため、市町を支援する。	900
文化財保護課	滋賀のまつり継承支援モデル事業	祭の保護団体等に、祭の保存継承に関する意識調査を実施し、対策や組織づくりを検討する。また、モデル地区で祭の保護団体と来訪者が交流する現地探訪会を実施し、祭が持つ意義や魅力を地域と来訪者が共に発見する機会を作る。	800

戦略計 16事業

171,191



**戦略 ターゲットを意識した継続的な情報発信強化**

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
広報課	滋賀の戦略的県外PR事業	本県の魅力的なコンテンツを発掘し、首都圏や大都市圏のメディアに対して、戦略的にターゲットに届くPR発信を行う。	15,000
観光交流局	首都圏観光情報発信事業	首都圏において、東京観光物産情報センターを核として、観光PRや情報発信を展開することで、観光地「滋賀」の認知度向上を図るとともに、宿泊を伴う観光誘客を促進する。	5,000
観光交流局	国際観光推進事業(海外への情報発信)	訪日旅行者を本県に誘致するため、訪日外客数上位である東アジアや伸びが大きい東南アジアを中心にプロモーション活動を実施する。	6,922
観光交流局	観光物産情報発信事業	ホームページやメディアを活用した情報発信、交通機関と連携したキャンペーンの展開、首都圏等で開催される観光展への出展などを通じ、多様な観光資源やイベント等の情報を効果的に発信する。	34,460
観光交流局	マイヤーガーデン滋賀プロジェクト事業	米国ミシガン州のマイヤーガーデン(美術・植物庭園)にて開催される滋賀特別展に合わせ、現地で滋賀の物産等の紹介や情報発信などを行う。	6,000
食のブランド推進課	滋賀県産農畜水産物海外販路開拓支援事業	県産農畜水産物の輸出の現状を調査・分析し、今後の輸出戦略を構築、組織化の検討を行うことにより、自主的・積極的に県産農畜水産物の輸出に取り組む事業者を支援し、輸出の促進を図る。	1,807

戦略計 6事業 69,189  
基本目標1計 22事業 240,380

**基本目標2 「滋賀ならではの」素材や強みを活かした特色のあるツーリズムの展開**

**戦略 滋賀の特色を際立たせる誘客活動の推進**

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
文化振興課	地域の元気創造・暮らしアート事業(「美の滋賀」創造事業)	NPOなど多様な主体が実施する、アートや暮らしの中にある美の資源を活用して地域を元気にする取組を支援し、ネットワーク化および広域展開を促進することで、多彩な文化プログラムの展開および発信力のある新たなアートプロジェクトへの発展を目指す。	18,742
文化振興課	東京オリンピック・パラリンピック文化プログラム推進事業	オリンピック・パラリンピック東京大会開催に併せて全国で展開される文化プログラムを県内で推進するため、関係団体等で組織する準備会を立ち上げるとともに、県内各地で県民・市町・各分野の団体等との意見交換の場を設けるなど、機運を醸成する。	2,537
文化振興課(近代美術館)	「美の滋賀」の拠点をめざす展覧会開催事業	「美の滋賀」の拠点となる新たな美術館の方向性に沿い、地域の施設や団体等と連携し、県民に幅広い美術の魅力伝える「志村ふくみ展」や「アール・ブリュット展」を開催する。	32,185
観光交流局	映像誘致戦略展開事業	本県での映像製作を促進するため、滋賀を舞台とした作品制作のPRを行うなど、一層のロケ展開を図る。	1,600
観光交流局	地域観光活性化支援事業	県内各地域観光振興協議会等の行う観光活性化およびJR等の駅を利用した交通2次アクセスの利便性の向上のための事業を支援し、誘客を図る。	14,000
観光交流局	コンベンション招致事業	国内外の会議や大会等のコンベンションを本県に招致するため、大学や会議主催者、旅行会社関係者等を対象に、滋賀の魅力PRを行う。	3,218
観光交流局	観光イベント推進事業	観光客の積極的な誘致を図るため、一定の観光誘客が見込める地域主催のイベントに対して助成する。	32,000
水産課	「しがの水産物」流通拡大対策事業	養殖ピワマス「びわサーモン」のイメージアップ活動や、生産者が開催する直売会による消費促進活動に対して支援する。	700
水産課	「琵琶湖八珍」ブランド化事業	安土城考古博物館から発表された「琵琶湖八珍」を滋賀の観光資源と位置付け、その価値を構築するため飲食店、旅館、土産店など事業者による活用促進と観光客や消費者への利用訴求を展開する。	4,135
水産課	魅力ある河川漁業推進事業	河川漁業の振興のため、魅力ある河川漁場づくりと遊漁者の増加に向けた取組を実施する。	1,150
交通戦略課	湖西線利便性向上プロジェクト推進事業	湖西線開通40周年を契機に、湖西地域の持続的な発展に欠かすことができない幹線交通である湖西線の利便性向上に係る課題を検討していくことを目的に設置した「湖西線利便性向上プロジェクトチーム」において取り組む事業に対して必要な支援を行う。	8,000
交通戦略課	米原駅サイクルステーション検討事業	米原駅前へのサイクルステーション設置検討と、レンタサイクル広域利用システムを検討するために実施する社会実験等に対して支援する。	1,000
文化財保護課	「戦国の近江」魅力発信事業	城跡や古戦場など、戦国時代の遺跡の魅力を発信するため、探訪やシンポジウムを県内外で開催し、来訪者の誘致を図る。また彦根城・安土城、忍者を紹介する英語版資料をインターネットで発信し、外国人観光客の誘致を図る。	4,960

戦略計 13事業 124,227

**戦略 学生、地域住民等による「観光交流」の推進**

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
文化財保護課	人と地域が輝く歴史遺産活用モデル事業	県内の史跡等でモデル地区を設定し、活用の担い手となる大人や子供を募集し、学習会などで人材を育成する。さらに、担い手の自発的な企画による探訪などの事業を支援し、来訪者との交流に協働して取り組む。	2,000

戦略計 1事業 2,000  
基本目標2計 14事業 126,227

### 基本目標3 来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくり

#### 戦略 来訪者を温かく迎える人材の育成

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
観光交流局	「ウェルカム滋賀」推進事業	観光ボランティアガイドの活動により、来訪者を温かく迎える「おもてなし」の向上を図り、地域の活性化や観光振興につなげる。	250
スポーツ健康課	スポーツボランティア支援事業	スポーツを「支える」立場から、スポーツイベントやスポーツ事業の運営に携わる一般のボランティアを養成し、2020東京オリンピック・パラリンピックや関西ワールドマスタースゲームズ2021を経て、本県で開催する平成36年国体の円滑な運営につなげるため、ボランティアネットワークの構築とボランティアの養成を行う。	750
文化財保護課	「千年の美つたえびと」づくり事業	文化財を守る地域のリーダーとして、また県内の博物館や美術館と地域を結び、来訪者に魅力を伝える人材として、「千年の美つたえびと」を養成する。	1,613
戦略計 3事業			2,613

#### 戦略 「観光交流」推進に向けた基盤の整備

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
企画調整課	滋賀・びわ湖ブランド推進事業 (首都圏情報発信拠点整備)	滋賀の認知度・ブランド力の向上に資するため、首都圏における新たな情報発信拠点を整備する。	245,723
新駅問題・特定プロジェクト対策室	米原駅周辺活性化による県広域振興推進事業	米原駅周辺の活性化を図り、県東北部の広域振興に資するため、米原駅東口県有地を中心とした利活用計画を検討する。	5,000
新駅問題・特定プロジェクト対策室	びわこ文化公園都市(仮称)スポーツ・健康づくり拠点整備計画等検討事業	国体主会場選定時の付帯意見を受け、びわこ文化公園都市の強みを活かして、スポーツ・健康づくりの拠点施設の整備を中心とした、全体の土地利用計画を検討する。	20,000
文化振興課	文化施設多言語化対応事業	文化施設における外国人の利用状況に関する調査を行うとともに、日本語オペラの英語字幕を制作し、訪日外国人の受入体制について検討する。	1,252
文化振興課新生美術館整備室	新生美術館整備事業	新たな美術館の実現に向け、基本設計・実施設計および作品収集や情報システムなど機能整備の取組を行う。	107,282
文化振興課新生美術館整備室	みんなで創る美術館プロジェクト事業	多くの県民の理解と参画のもと美術館の整備を進めるため、建築イメージを紹介するフォーラムの開催やリーフレット等の制作、アートイベントの開催、地域や施設等と美術館を結ぶバスのモデル運行等を行う。	10,000
情報政策課	県域無料Wi-Fi整備促進事業	外国人旅行者など誰もが利用できる無料Wi-Fiスポットの整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図るとともに、大規模災害等発生時における通信手段として、無料Wi-Fiを活用する。	12,627
琵琶湖博物館	展示交流空間再構築事業	「新琵琶湖博物館創造基本計画」に基づき、第1期分として、C展示室と水族展示室のリニューアル工事を行う。	720,116
観光交流局	観光キャンペーン推進事業	大型観光キャンペーンの実施に向け、その企画検討を行うとともに、県内各市町や観光関連団体、観光事業者等と連携し、協議会設立の準備を進める。	5,260
観光交流局	国際観光推進事業(外国人観光客の受入体制強化)	訪日旅行者を本県に誘致するため、パンフレットの充実や多言語対応など、受入環境の向上を図る。	6,750
交通戦略課	エコ交通協働推進事業	「エコ交通」を推進するため、交通事業者や県内企業・団体等との連携による会議を開催し、公共交通の利用促進策等について研究を行う。また、県内企業を対象にエコ交通の実態把握を行うとともに、「エコ通勤優良事業所」の認証取得を全県下に呼びかける。	2,170
交通戦略課	自転車プロジェクト推進事業	自転車利用を進めるため、自転車の魅力を高め、利用しやすい体制の構築・普及啓発を進める。	1,600
交通戦略課	大津・湖南地域新交通システム導入可能性検討事業	人口増加と発展が見込まれる大津湖南地域において、地域の持続的発展を図っていくためには、公共交通を軸とした駅を中心としたまちづくりを進めていく必要がある。これを実現していくツールとして、新交通システム(LRT)の導入可能性について検討を行う。	2,500
道路課	「道の駅」情報発信機能強化事業	現在、県内には「道の駅」が17箇所登録されており、今後、「道の駅」が観光や産業振興など地域の元気を創る地域の拠点となるよう、基礎的なサービス水準を確保していく必要がある。情報発信機能を向上させることで、サービス向上を図るとともに、災害時の拠点として「道の駅」が使用される場合においても、迅速な情報収受が可能となる。	1,000
文化財保護課	新生美術館への琵琶湖文化館機能移転準備事業	琵琶湖文化館が寄託等により保管している国宝・重要文化財を含む約7,800点の収蔵品を、新生美術館に円滑に移転することができるよう収蔵品の整理調査・修理等を進める。	30,474
戦略計 15事業			1,171,754
基本目標3計 18事業			1,174,367
総合計 54事業			1,540,974

平成27年度滋賀県「観光交流」振興指針アクションプラン 重点事業  
 (地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業)

基本目標1 観光地「滋賀」の認知度向上

戦略 琵琶湖・滋賀をキーワードとしたブランドの創造と発信

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
モノづくり振興課	地場産業プロモーション支援事業	産地の経済活性化を図るため、つくり手の思いを伝え、共感を得て商品価値を向上させる「ブランディング」の視点から実施される地場産業の認知度を高める取組を支援する。	11,300
食のブランド推進課	農畜水産物国内外販路開拓支援事業	国内外の展示商談会への滋賀県産農畜水産物の生産者団体等の出展を支援することにより、販路開拓を図る。これにより、滋賀の食材の魅力を国内外に向けて発信し、地域ブランド力の向上を図る。	25,500
水産課	「ビワパール」まるごとブランディング事業	滋賀県産のビワパール母貝殻の活用を図るため、県内の大学、企業、共同体等への研究委託によりパール粉を用いた素材の開発研究や、殻の真珠層を活用した素材の研究を行うとともに、研究で得られた成果の公表や県内真珠業者との交流会を開催し、「ビワパール」に関連した特産品の販売につなげる。	13,044

戦略計 3事業 49,844

戦略 ターゲットを意識した継続的な情報発信強化

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
企画調整課	滋賀のスポーツ交流創出事業	スポーツを通じた県民の誇りづくりと元気な滋賀の創造に向け、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿をはじめとする交流の機会や場を招致・創出するため、調査研究や海外での誘致活動等を行う。	20,000
観光交流局	「ようこそ滋賀」魅力発信事業	女子旅やロケ地観光など、特色のある視点から誘客を図るほか、テレビCMなど様々なメディアを活用し、滋賀の魅力を積極的に発信する。	191,700
観光交流局	国際観光推進事業	海外からの観光客誘致を強化するため、訪日観光客数上位である東アジアや伸びが大きい東南アジアに対するプロモーション活動を実施するほか、パンフレットの充実など、受入環境の向上を図る。また、急増する訪日観光客に対応するため、モバイル端末に対応した観光情報ウェブサイトを構築するほか、海外に向けた魅力発信を強化する。	48,447
食のブランド推進課	海外市場開拓支援(トップセールス)事業	海外で知事自らが本県の農畜水産物・食品を直接PRすることにより、国内外における県産農畜水産物への関心を高め、生産者団体等の海外における事業展開の促進を図り、本県農業の発展に資することを目的とする。また、知事プロモーションの機会を効果的に活用するため、観光交流局と連携し、現地で「滋賀・びわ湖ブランド」の魅力発信を行う。	2,178

戦略計 4事業 262,325  
 基本目標1計 7事業 312,169

基本目標2 「滋賀ならではの」素材や強みを活かした特色のあるツーリズムの展開

戦略 滋賀の特色を際立たせる誘客活動の推進

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
環境政策課 (琵琶湖博物館)	琵琶湖・鳥丸半島魅力向上活性化事業	琵琶湖博物館や水生植物公園みずの森、道の駅グリーンプラザからすまなどの施設が集積している琵琶湖・鳥丸半島エリアにおいて、各施設が連携して魅力を引き出し、集客を図ることによって、地域の活性化につなげる。	6,482
中小企業支援課	インバウンドによる持続可能な消費喚起・地域の魅力創造事業	商店街のポイントカードシステムを活用した観光客向けのプレミアム付きICプリペイドカードを発行することにより、来外客の地域における消費を喚起する。また、当該カードに観光施設の割引等の付加価値を付けるとともにポイントも活用できることとすることにより、来訪者の顧客管理と固定客化を図る。	32,200
中小企業支援課	商店街魅力発掘・発信事業	県内商店街の個性・イベント情報・PR情報に加え、消費者から寄せられた商店街の魅力情報を放送媒体等を活用して発信するとともに、商店街に人を呼び込む仕掛けにより、商店街のにぎわいの創出、消費喚起を図る。	30,314
モノづくり振興課	ビジネスチャンス拡大支援事業	集客が見込める環境関連の最先端技術の展示紹介や県内企業との商談の場の設置、著名講師によるセミナー等を環境関連見本市と併催することにより、県内企業のビジネスチャンスを拡大させ、地域経済の活性化に資する。	10,000
観光交流局	観光消費喚起事業	滋賀の名物商品の購入や、県内施設での宿泊に対して助成を行うことにより、本県への誘客を促進するとともに、県内における観光消費の拡大を図る。	1,271,387

戦略計 5事業 1,350,383

戦略 学生、地域住民等による「観光交流」の推進

戦略計 0事業 0  
 基本目標2計 5事業 1,350,383

**基本目標3 来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくり**

**戦略 来訪者を温かく迎える人材の育成**

戦略計 0事業 0

**戦略 「観光交流」推進に向けた基盤の整備**

担当課	取組名	事業内容	予算額 (千円)
情報政策課	県域無料Wi-Fi整備状況調査・分析等事業	県内のWi-Fi普及状況に関する調査・分析を実施し、効果的に無料Wi-Fi環境を充実していくための普及促進方針を立案する。	4,168
都市計画課	歴史的街道のつながりある景観形成によるまちづくり事業	歴史的な街道の景観ネットワークを形成するための街道景観形成方針を作成し、市町が実施する“まち”の活力の再生を目的とした施策の方針として活用する。	28,500

戦略計 2事業 32,668  
 基本目標3計 2事業 32,668  
 総合計 14事業 1,695,220

※これらの事業は、国の「まち・ひと・しごと創生関連事業」を活用し、平成26年度補正予算で計上したものを、平成27年度に繰越を行って事業を実施するものです。

平成27年度滋賀県観光関連予算（重点事業以外）

基本目標1 観光地「滋賀」の認知度向上

戦略 琵琶湖・滋賀をキーワードとしたブランドの創造と発信

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
観光交流局	観光素材の発掘と観光地づくりの推進	びわ湖・里山観光振興特区推進事業	平成18年4月に認定を行った「びわ湖・里山観光振興特区計画」に基づき、高島市内に集客交流施設を新たに立地した事業者に対して補助を行う。	2,312
健康福祉政策課	観光素材の発掘と観光地づくりの推進	滋賀県平和祈念館事業費	県民の競争体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、平和を願う豊かな心を育むための拠点施設として滋賀県平和祈念館の運営を行う。	40,169
観光交流局	多様なイベントの開催によるブランド発信	おいで〜な滋賀体験フェア事業	ふるさと観光大使が開催するコンサートに連携して、歴史、文化、自然やくらしなどの滋賀の良さを伝えることのできる体験型観光をPRする「おいで〜な滋賀体験フェア」を開催する。	1,283
中小企業支援課	「食」をはじめとする特産物の発掘・開発やそのブランド発信の推進	伝統的工芸品関連事業 (産業振興事業、月間等参加事業)	国、県指定の伝統的工芸品の普及促進を図るため、滋賀県伝統的工芸品の指定を行うほか、(一財)伝統的工芸品産業振興協会等が東京で開催する全国伝統的工芸品展や伝統的工芸品月間事業に参加する。	3,295
観光交流局	「食」をはじめとする特産物の発掘・開発やそのブランド発信の推進	観光物産振興事業負担金(郷土物産展開催事業)	首都圏等において、本県のイメージアップと県産品の販路拡大を図るために、県内物産品の展示即売会を開催する。	8,292
食のブランド推進課	「食」をはじめとする特産物の発掘・開発やそのブランド発信の推進	「しがの食材」PR活動の推進(しがの農水産物マーケティング戦略推進事業)	しがの農水産物の総合的なPRを実施	1,619
食のブランド推進課	「食」をはじめとする特産物の発掘・開発やそのブランド発信の推進	美味しい「食」の情報発信総合事業	インターネット上の情報発信サイト「滋賀のおいしいコレクション」から、県内の旬の食材やレシピ、購入・食事場所など消費者の求める情報をタイムリーに発信することで、滋賀の食材のブランドイメージの向上と地産地消の推進を図る。また、H27年度からは現在のHPをスマホ対応とし、サイトの閲覧者を増やすことにより多くの人々に滋賀の食材をPRする。	4,500
水産課	「食」をはじめとする特産物の発掘・開発やそのブランド発信の推進	水産物流通促進対策事業	品評会開催等の水産加工品の宣伝事業に対し支援を行い、淡水魚介類の消費拡大を図る。	300
水産課	「食」をはじめとする特産物の発掘・開発やそのブランド発信の推進	特産マス資源の保全と活用に関する調査研究	在来マス類の増殖や生息環境の評価を行うとともに、琵琶湖固有種であるビワマスの特産品としての価値向上と普及を目指し、高成長系ビワマスの系統保全と全雌三倍体の安定供給体制確立と肉質改善に取り組み。	1,302
商工政策課	「食」をはじめとする特産物の発掘・開発やそのブランド発信の推進	滋賀の感性を伝える「ココロール」事業	滋賀らしい魅力をもつ商品やサービスの開発と販路開拓を促進するとともに、滋賀のブランド価値の向上を図るため、「ココロール マザーレイク・セレクション」の選定と、その広報を行う。	3,400

戦略計 10事業 66,472

戦略 ターゲットを意識した継続的な情報発信強化

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
情報政策課	ターゲットにあわせたIT技術活用による観光情報の発信	「しらせる滋賀情報サービス」の運用	安全・安心で心豊かに暮らすための情報を、いつでも、どこでも、誰にでも携帯電話やパソコンのEメール、地上デジタル放送で提供するシステムを運用する。	5,775
農村振興課	ターゲットにあわせたIT技術活用による観光情報の発信	都市農村交流対策事業	本県の農山漁村の地域資源をはじめ農家民宿や農業・田舎体験などの情報を提供するために開設しているホームページの運用等を行う。	459
観光交流局	外国人目線による海外への情報発信など、ターゲットにあわせた発信内容の精査	国際観光推進事業(ウェブによる情報発信強化事業)	海外での認知度を高めるため、外国向けウェブサイト「go-biwako」を活用した情報発信を行う。	5,171
事業課	外国人目線による海外への情報発信など、ターゲットにあわせた発信内容の精査	BOAT RACEびわこファン拡大事業	国内外の旅行会社およびメディアに対して、新しい観光資源としてのびわこボートレース場の魅力およびスイリとスリルの体験型誘客プログラムを発信する。また、県内観光施設とタイアップした行程を提案し、商談することにより旅行造成につなげ団体誘客を図る。	—
交通戦略課	交通事業者と連携した情報紙の発行・配布	エコ交通推進事業	公共交通機関を活用したモデルコースを首都圏に向けて発信する等、公共アクセスにこだわった情報発信を行う。	5,340
観光交流局	マスコミやエージェンメントに対する継続的なプロモーション活動の展開	観光物産振興事業負担金(旅行商品化提携事業)	各旅行会社に、首都圏などから本県を目的地とした旅行商品の造成を働きかけ、その販売促進により宿泊を伴った誘客を拡大する。	4,716
観光交流局	マスコミやエージェンメントに対する継続的なプロモーション活動の展開	観光物産振興事業負担金(運営費助成事業)	本県の多様な観光資源を活かし、情報発信や受入環境の整備を行うための推進団体であるびわこビジターズビューローの運営経費について負担する。	12,763
観光交流局	マスコミやエージェンメントに対する継続的なプロモーション活動の展開	国際観光推進事業(メディア取材協力事業)	滋賀県の観光情報を海外に向けて発信していくため、海外メディアによる取材への協力をを行う。	219
観光交流局	マスコミやエージェンメントに対する継続的なプロモーション活動の展開	観光物産振興事業負担金(東海地区観光物産情報発信事業)	東海地区でのマスコミ・エージェンメントへの観光情報発信を行う。	731
観光交流局	マスコミやエージェンメントに対する継続的なプロモーション活動の展開	国際観光推進事業(観光ミッション等)	外国人観光客誘致のため、訪日外客数上位である東アジアや伸びが大きい東南アジアに対するトップセールス等を行う。	2,899
観光交流局	マスコミやエージェンメントに対する継続的なプロモーション活動の展開	観光物産振興事業負担金(国際観光推進事業)	訪日観光客数の上位を占める東アジア・東南アジア市場からの観光客誘致強化のため、広域連携を活用した観光見本市への参加、エージェンメント・メディア等の招請、海外情勢の情報収集等を広域的に連携しながら実施する。	1,200
観光交流局	東京観光物産情報センターを核とした首都圏への情報発信	東京観光物産情報センター管理運営事業	首都圏での本県の観光、物産に関する情報発信拠点として、東京観光物産情報センターを運営する。	26,854
観光交流局	東京観光物産情報センターを核とした首都圏への情報発信	全国滋賀県人会連合会活動支援費	国内、海外にある滋賀県人会を育成し、そのネットワークを活用して、本県の魅力を国内外に発信するため、助成を行う。	7,800
観光交流局	公共施設など「人が集まる場所」への観光パンフレットの配置	観光宣伝啓発事務費	多様な観光資源やイベント等の情報を、効果的に発信する。	5,950

戦略計 14事業

79,877

基本目標1計 24事業

146,349

## 基本目標2 「滋賀ならではの素材や強みを活かした特色のあるツーリズムの展開

### 戦略 滋賀の特色を際立たせる誘客活動の推進

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
文化振興課	歴史上の舞台、古くゆかりの地といった特性を活かした、テーマ性やストーリー性のある誘客活動の推進	近江歴史回廊構想推進事業	滋賀の歴史文化資源を活かした地域づくりを進めるため、近江歴史回廊大学の開校による人材育成や情報発信事業、部会事業等に対する補助や歴史街道推進協議会への参画を行い、近江歴史回廊構想を推進する。	8,059
文化振興課	歴史上の舞台、古くゆかりの地といった特性を活かした、テーマ性やストーリー性のある誘客活動の推進	美術館普及・鑑賞案内事業	ミシガン州のマイヤーガーデンにおいて開催される「滋賀の美」を発信する展覧会に協力する。	764
観光交流局	映画ロケ誘致と連動した「ロケ地観光」や文学作品を活かした誘客の推進	映像誘致・ロケ支援事業	映画やテレビ等の映像を通して、本県の魅力の発信、イメージアップを図るため、県内でのロケ撮影の誘致、支援を実施。	3,557
環境政策課(琵琶湖博物館)	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	調査・資料収集事業(琵琶湖博物館)	「湖と人間」をテーマに研究・調査を行うとともに、博物館活動に必要な資料の収集・整理・保存を行う。	124,404
環境政策課(琵琶湖博物館)	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	展示事業(琵琶湖博物館)	「湖と人間」というテーマに沿って、人と自然の関わり方などについての展示を行う。	65,749
環境政策課(琵琶湖博物館)	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	情報交流事業(琵琶湖博物館)	Webにより博物館活動についての情報を発信するとともに、イベント・観察会・見学会・体験学習などの実施を通して、地域の自然や暮らしを見つめ直すきっかけをつくる。	27,676
環境政策課(琵琶湖博物館)	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	環境学習センター事業費(環境学習情報提供事業)	環境学習の企画やプログラム作りに必要な環境学習の事例、人材、施設等の情報収集と発信をWeb等により行う。(エコロシーが)	3,093
自然環境保全課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	鳥獣保護事業	湿地の賢明な利用を進めるため、ラムサール条約の登録湿地である琵琶湖湖の登録地での良好な関わり方の情報発信を行う。	185
自然環境保全課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	自然公園施設等整備事業	伊吹山自然再生事業(自然再生事業調査、自然再生協議会の開催、および自然再生のための事業等)	3,400
子ども・青少年局	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	しがこども体験学校推進事業	長期休業中の体験事業プログラムを掲載したパンフレットの発行、体験活動情報をまとめたHPの運営、事業実施者や指導者等のスキルアップ研修会の開催等を行う。	3,243
水産課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	種井養鰯場管理運営委託料	深山幽谷として名高い豊かな自然環境にあり、聴いたの場、魚を「見れ、触れ、学ぶ」ことができる場、漁業に関する知識の普及と理解を深める場となる種井養鰯場の管理運営等の業務を指定管理者に行わせるための委託料を支出する。	21,140
水産課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	河川漁業振興対策事業	遊漁者の集客を高め、河川漁業の振興を図るため、アユ、アマゴ、イワナ種苗の河川放流を促進する。	3,000
中小企業支援課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	政策推進資金貸付金(成長産業育成枠)	今後の成長が期待される産業界において、事業拡大を行う中小企業者を制度融資により支援する。	61,000
観光交流局	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	観光物産振興事業負担金(教育旅行誘致事業)	修学旅行等教育旅行誘致のため、キャラバン活動や体験学習ガイド作成、旅行エージェントの研修会受入等の事業を行う。特に平成25年度からは担当教諭を滋賀県に招待し、教育旅行で本県を訪問してもらうきっかけづくりをめぐる。	1,566
観光交流局	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	小型船安全対策事業	湖上レジャーの安全と健全な発展を図るため、ヨット等の湖上レジャー客や関係事業者等への安全啓発事業を行う。	680

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
学校教育課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	琵琶湖・淀川流域小学生交流航海事業(びわ湖フローティングスクウェア事業)	本県および京都府、大阪府の小学5年生が環境学習船「うみのこ」で宿泊を伴う交流活動を行い、その体験を通して琵琶湖に学ぶ。	—
交通戦略課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	琵琶湖環境線を活用した集客・交流創造事業(小学生体験学習プログラム支援事業)	琵琶湖環境線を活用し、本県鉄道網の現状を把握するとともに、琵琶湖を中心とした本県の自然や地理、歴史などの学習を行う琵琶湖一周体験学習等を支援する。	2,600
琵琶湖政策課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	びわこルールキッズ事業	夏休み期間中に外来魚のノーリリスに協力してもらえらる小中学生「びわこルールキッズ」を募集。特に淀川流域の小中学生に外来魚の釣り上げを通じて琵琶湖の生態系の現状を知ってもらい環境問題への意識の誘いとノーリリスの周知と定着を図る。	358
文化財保護課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	校内・校外学習サポート事業	・建造物修理工事や埋蔵文化財発掘調査の現場などで体験学習等を受け入れる。 ・安土・城跡・観音寺城跡での現地校外学習授業を実施する。	—
学校教育課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	高校生海外相互派遣事業	本県の高校生と米国ミネソタ州の高校生を各15名、約2週間にわたって相互に派遣し、それぞれの生徒の家庭にホームステイを行い交流を深めるとともに、外国の学校生活・家庭生活を体験させることにより、異文化への理解を深めさせる。	1,871
学校教育課	琵琶湖での自然体験や農村での生活文化体験など、滋賀の風土を活かした体験型観光の推進	語学指導外国青年招致費	一般財団法人自治体国際化協会、総務省、外務省、文部科学省の協力の下、JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)により招致した英語を母国語とする外国青年を外国語指導助手として雇用、各県立学校に派遣し英語教育の充実を図る。	87,285
観光交流局	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	滋賀県山岳遭難防止対策協議会補助金	安全で快適な登山活動の確保のため、滋賀県山岳遭難防止対策協議会が行う安全対策事業や啓発活動に対し支援。	500
農村振興課	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	都市農村交流対策事業	都市農村交流に取り組んでいる地域に対して、事業効果を高めるための助言・指導等を行うとともに、農村地域の魅力を発信する。	2,584
生涯学習課	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	長浜ドーム宿泊研修館管理運営事業	青少年の活動拠点として、長浜ドーム宿泊研修館を運営	13,617
中小企業支援課	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	中小企業経営革新支援事業	県内の中小企業の新たな取組(経営革新)を支援するとともに、経営革新計画承認企業ならびに滋賀の新しい産業づくりチャレンジ計画認定企業等が実施する事業のうち、事業化・市場化段階にある事業内容について、経費の一部を補助する。 サービス産業振興特別枠の1つとして、集客・観光サービス分野あり。(※予算額は事業全体額)	15,501
モノづくり振興課	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	陶芸の森管理運営委託料	県民が気軽に本物の陶芸に触れ、交流する拠点となる陶芸の森について、事業の実施および施設の管理運営等の業務を行うため、指定管理者に管理料を支出する。	171,052
モノづくり振興課	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	びわ湖環境ビジネスメッセ	日本最大級の環境産業総合見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ2015」を開催するとともに、海外で開催される環境関連見本市に県内企業の参加を得てびわ湖環境ビジネスメッセコーナーを展示する。	15,000
文化振興課(近代美術館)	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	近代美術館展覧会開催事業	内外の優れた美術作品について、県民をはじめとする来館者に鑑賞機会を提供するため、多種多様な展覧会を積極的に開催する。	37,561
文化振興課	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	びわ湖ホール指定管理料	びわ湖ホールについて、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料を支出する。	945,108
文化振興課	さまざまな素材の魅力を活かしたツーリズムの推進	文化産業交流会館指定管理料	県民が文化芸術活動を行う拠点となる文化産業交流会館について、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料を支出する。	337,891



担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
文化振興課	さまざまな素材の魅力を活かしたツアーリズムの推進	希望が丘文化公園指定管理料	希望が丘文化公園、青少年宿泊研修所および野外活動センターについて、事業の実施および施設の管理運営等の業務を指定管理者が行うための管理料等を支出する。	387,681
文化振興課	さまざまな素材の魅力を活かしたツアーリズムの推進	滋賀県芸術文化祭開催事業	県民の意欲的な創作活動の発表の場を提供し、文化芸術に親しむ機会とするため、美術展覧会、写真展覧会および文学祭を開催するとともに、文化団体等との連携によるオープニング事業を実施する。	22,380
文化財保護課	さまざまな素材の魅力を活かしたツアーリズムの推進	「受け継がれゆくいにしえの美」琵琶湖文化館所蔵品再生展示事業	マザーレイク滋賀応援基金を充当して、琵琶湖文化館が所蔵している文化財のうち、県に寄付された損傷が著しい作品を修理再生し、県内の美術館等で一般に展示公開する。	6,929
文化財保護課	さまざまな素材の魅力を活かしたツアーリズムの推進	文化財等の積極的な活用事業	・建造物修理工事や埋蔵文化財発掘調査の現場等で説明会を開催する。 ・滋賀の文化財講座「打出のコソ子」を開催する。 ・連続講座「近江の城郭」を開催する。	—
観光交流局	中部圏、近畿圏の結節点に位置する地理的優位性を活かした国際観光の推進	観光物産振興事業負担金(日本観光振興協会共同事業)	全国広域観光振興事業を実施するため、(公社)日本観光振興協会に負担金を拠出。	1,000
観光交流局	中部圏、近畿圏の結節点に位置する地理的優位性を活かした国際観光の推進	広域観光振興事業(関西国際空港関係)	外国人観光客の入口となる関西国際空港を拠点とする広域観光協議会に負担金を拠出し、他府県との連携により、滋賀への誘客を図る。 対象団体: 関西国際空港内広域観光案内推進協議会	1,510
観光交流局	中部圏、近畿圏の結節点に位置する地理的優位性を活かした国際観光の推進	広域観光振興事業(関西国際空港関係以外)	関西、中部等の関係府県等で構成する観光振興団体や全国協議会に対し、負担金を拠出し、他府県等との連携により広域観光振興事業等を展開する。 対象団体: 中部広域観光推進協議会、日本観光振興協会、国際観光振興機構	4,403
観光交流局 (企画調整課)	中部圏、近畿圏の結節点に位置する地理的優位性を活かした国際観光の推進	関西広域連合負担金	関西広域連合として、関西が一丸となって東アジアからの観光誘客を推進する。	1,989
観光交流局	中部圏、近畿圏の結節点に位置する地理的優位性を活かした国際観光の推進	国際観光推進事業(京滋連携国際観光誘客事業)	京都府と連携し、両府県の特徴ある観光資源を活用した海外誘客に取り組む。	600

戦略計 39事業 2,384,886

戦略 学生、地域住民等による「観光交流」の推進

戦略計 0事業 0  
基本目標2計 39事業 2,384,886

基本目標3 来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくり

戦略 来訪者を温かく迎える人材の育成

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
観光交流局	地域で「観光交流」を中心となつてすすめる人材の発掘養成	観光振興功労者の表彰	観光振興に寄与した個人・団体に対し知事表彰として観光振興表彰を行い、更なる取組推進と一般へのPRを展開する。	—

戦略計 1 事業 0

戦略 「観光交流」推進に向けた基盤の整備

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
市町振興課 (観光交流局)	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	自治振興交付金 (国際観光サイン整備事業)	外国人来訪者が安心、快適に県内観光地を周遊できるよう、市町が行う多言語表記の観光案内サインの整備に助成する。	—
中小企業支援課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	中小企業経営資源強化対策費補助金	県中小企業支援センターが中小企業者等の経営資源の強化・促進のために行う事業に対して助成する。	31,623
道路課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	歩道のバリアフリー化	誰もが利用しやすい歩道とすため、段差・急勾配の解消や幅員の確保等、歩行空間のバリアフリー化を推進する。	403,884
道路課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	広域連携事業(福井県・岐阜県・京都府)	広域的な観光活性化に向けた基盤整備として、観光拠点へのアクセス道路等の整備を推進する。	1,589,371
交通戦略課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	琵琶湖環状線を活用した集客・交流創造事業 (誘客事業)	直流化した北陸本線・湖西線の沿線地域において、鉄道駅を拠点として実施する鉄道利用者を増加させるための誘客事業に対し支援する。また、SL北びわこ号運行20周年記念事業の開催を契機に、米原駅の徹底活用と北びわこ地域の活性化を促進する。	7,402
交通戦略課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	公共交通機関の需要創出事業	草津線全線開通120周年を契機とした盛り上がりを引き継ぎ、沿線地域が一体となった観光誘客事業を展開するとともに、地元駅の利用促進を図る。	2,675
交通戦略課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	鉄道安全輸送設備等整備事業費補助	近江鉄道が行う保安度向上等を図るための輸送高度化事業に対する支援を行う。	31,478
交通戦略課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	鉄道関連施設整備費補助	鉄道駅の利便性向上施設の整備に対する支援を行う。	216,874
交通戦略課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	信楽高原鉄道線保安設備整備等補助金	信楽高原鉄道線の維持管理費等に対する支援を行う。	107,287
交通戦略課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	バスロケーションシステム導入促進事業	全ての人に使いやすいくかりやすいサービスの提供と円滑な移動環境を形成するため、バス事業者が行うバスロケーションシステム整備を支援する。	4,200
都市計画課	来訪者それぞれのニーズにあわせた滞在環境の向上	都市計画街路整備事業	良好な道路空間の確保、アクセスの改善等	1,530,377
流域政策局	災害等の発生時における来訪者の安全確保の検討	ハザードマップ活用支援事業費	市町が避難勧告を発令するにあたっての支援資料の作成や洪水ハザードマップの有効活用を支援し、「そなえる」対策を促進する。	14,580

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
流域政策局	災害等の発生時における来訪者の安全確保の検討	水害に強い地域づくり事業費	地域の実情にあった具体的な水害対策を進めていくため、市町や住民と協働して「水害に強い地域づくり計画」を策定する	21,000
中小企業支援課	地域で取り組み「観光交流・機会の創造	にぎわいのまちづくり総合支援事業 (にぎわい創出推進事業)	商店街振興組合等が行う、地域の特性を活かした商店街の魅力向上や地域のふれあい創出、空き店舗対策などの取組により、地域社会が抱える課題の解決や商店街等のにぎわいを創出しようとする事業を支援し、持続可能でにぎわいと魅力あふれるまちづくりを推進する。	18,000
中小企業支援課	地域で取り組み「観光交流・機会の創造	商工会連合会一般活動費補助金(地域振興対策事業)	商工会が実施するまちづくり等の地域振興事業に対して助成を行う。	10,000
循環社会推進課	美しい景観形成・保存への取り組み	散在性ごみ対策事業	環境美化運動、減液エコフオスター事業および環境美化監視員による啓発、監視ハトロール等の実施、ならびに美しい湖国をつくる会への支援により、公共的な場所の環境美化を図る。	18,430
琵琶湖政策課	美しい景観形成・保存への取り組み	ヨシ群落保全事業	ヨシ群落保全条例に基づき、ヨシ群落の造成(自然再生整備)、刈取り・清掃等を実施する。	26,548
琵琶湖政策課	美しい景観形成・保存への取り組み	水草刈取事業	琵琶湖で大量繁茂する水草の刈取りおよび刈り取った水草の有効利用を実施する。	210,478
自然環境保全課	美しい景観形成・保存への取り組み	自然公園等管理事業	自然公園が持つ生態系の多様性に配慮し、利用しやすい自然公園施設の整備と適正な管理を行う。	42,395
中小企業支援課	美しい景観形成・保存への取り組み	大規模小売店舗の立地に関する事前協議および地域貢献に関するガイドライン	地域社会と大型店の共存を目的として、立地にかかると事前協議の仕組みづくりのほか、大型店が景観形成・街並みづくりへの協力、地域行事への協力等を盛り込んだ地域貢献計画書を作成し、県HPで公開することにより、大型店による地域貢献の仕組みをすすめていく。	—
中小企業支援課	美しい景観形成・保存への取り組み	にぎわいのまちづくり総合支援事業 (商店街基盤施設等整備事業)	商店街振興組合等が商店街の活性化のためにまちづくりの視点で、少子化、高齢化、安全・安心、地域資源活用・農工商連携、創業・人材、環境等の社会課題に対応した商業基盤施設等を整備する事業に対して補助する。	2,000
水産課	美しい景観形成・保存への取り組み	水産基盤整備事業	減少した水ヨシ帯や、水ヨシ帯と連続した砂地を回復し、在来魚にとって最適な産卵繁殖場を形成するため、ヨシ帯造成および砂地造成を行う。	367,250
流域政策局	美しい景観形成・保存への取り組み	補助河川環境整備事業費、補助河川総合流域防災事業費(西の湖・マイアミ浜・草津地区分)	汚泥が著しい河川の底泥浚渫や浄化用水の導入による水質改善を行う。	315,000
流域政策局	美しい景観形成・保存への取り組み	補助広域河川改修事業費、補助河川総合流域防災事業費(西の湖・マイアミ浜・草津地区分を除く)、単独河川改良事業費	多自然川づくりの推進等により良好な河川空間を保全・創出する。	5,934,750
都市計画課	美しい景観形成・保存への取り組み	都市公園整備事業	湖辺域の環状緑地ネットワーク拠点となる都市公園ひわこ地球市民の森、湖岸緑地中主吉川地区等の整備事業。	254,500
都市計画課	歴史を活かしたまちづくりの推進	歴史的街道のつながりある景観形成によるまちづくり事業	歴史的な街道のつながりある景観形成に取り組むことで、子育て世代から高齢者までが地域に愛着を持ち持続して住み続けられるような町づくりを進め、人口減少社会における「まち」の活力の再生に寄与する。	1,487
循環社会推進課	美しい景観形成・保存への取り組み	生活排水対策事業	浄化槽設置や適正な浄化槽維持管理を推進することで、琵琶湖の水質保全を図る。	18,058

担当課	区分	事業名	事業内容	予算額 (千円)
循環社会推進課	美しい景観形成・保存への取り組み	産業廃棄物不法投棄防止対策	不法投棄等の未然防止、早期発見による事業の是正や拡大防止に取り組むため、民間委託パトロール、不法投棄通報窓口の周知、小型監視カメラの整備等の対策を一層強化し、地域住民等の協力も得ながら、不法投棄等を許さない地域づくりを推進する。	39,069
文化財保護課	歴史を活かしたまちづくりの推進	里山と文化財が織り成す地域資産再生事業	木々に埋もれた文化財の活用を容易にし、地域資産としての価値を高めるため、市町が実施する里山の整備に要する経費を助成する。	2,461
文化財保護課	歴史を活かしたまちづくりの推進	指定文化財保存修理等補助事業	文化財の保存と活用を図るため、文化財の所有者等が行う保存修理等の事業に対して助成を行う。	129,336
文化財保護課	歴史を活かしたまちづくりの推進	特別史跡安土城跡・新保存管理計画策定事業	特別史跡安土城跡を適切に保存し、あわせて観光資源としても有効に活用するため、将来にわたる適正な保存活用の指針となる「新保存管理計画」を策定する。	2,000
文化財保護課	歴史を活かしたまちづくりの推進	文化財等の積極的な活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建造物修理工事や埋蔵文化財発掘調査の現場等で説明会を開催する。</li> <li>・県内の城郭遺跡等の史跡案内を実施する。</li> <li>・滋賀の文化財講座「打出のコツチ」を開催する。</li> </ul>	—
観光交流局	歴史を活かしたまちづくりの推進	江州音頭普及事業	本県の代表的な民謡である江州音頭を県内外に普及し、本県のイメージアップを図るため、滋賀県江州音頭普及会が実施する事業に支援する。	1,900

戦略計 33事業 11,354,413  
 基本目標3計 34事業 11,354,413  
 総合計 97事業 13,885,648